

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
該当なし。
- (3) 引当金の計上基準
該当なし。
- (4) リース取引の処理方法
該当なし。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の経理処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
入金	110,210,000	0	0	110,210,000
小計	110,210,000	0	0	110,210,000
特定資産				
-	-	-	-	-
小計	-	-	-	-
合 計	110,210,000	0	0	110,210,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
入金	110,210,000	(67,020,000)	(0)	(43,190,000)
小計	110,210,000	(67,020,000)	(0)	(43,190,000)
特定資産				
-	-	(-)	(-)	(-)
小計	-	(-)	(-)	(-)
合 計	110,210,000	67,020,000	0	43,190,000

5. 担保に供している資産

なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計及び当期末残高

なし。

7. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

なし。

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金・負担金						
青果物価格安定対策事業（一般業務）	県	28,756,435	743,660	1,002,974	28,497,121	流動負債
〃	市町	3,001,175	118,983	142,750	2,977,408	〃
〃	連合会	5,435,207	178,482	226,172	5,387,517	〃
〃	J A	3,050,747	118,985	144,622	3,025,110	〃
〃	生産者	10,528,691	327,215	420,505	10,435,401	〃
小計		50,772,255	1,487,325	1,937,023	50,322,557	
青果物価格安定対策事業（特定業務）	県	110,958,654	3,600,050	16,068,101	98,490,603	流動負債
〃	市町	9,950,933	327,263	1,437,573	8,840,623	〃
〃	連合会	22,437,818	752,742	3,230,076	19,960,484	〃
〃	J A	12,486,887	425,463	1,792,482	11,119,868	〃
〃	生産者	43,184,497	1,440,051	6,223,516	38,401,032	〃
小計		199,018,789	6,545,569	28,751,748	176,812,610	
助成金						
特定野菜等価格差補給交付金	農畜産業振興機構	0	0	0	0	流動負債
基本財産						
入金	県	58,000,000	0	0	58,000,000	指定正味財産
〃	市町	9,020,000	0	0	9,020,000	〃
〃	中央会	60,000	0	0	60,000	長期預り金
〃	信用連	6,500,000	0	0	6,500,000	〃
〃	全共連	6,500,000	0	0	6,500,000	〃
〃	全農	20,940,000	0	0	20,940,000	〃
〃	J A	9,190,000	0	0	9,190,000	〃
小計		110,210,000	0	0	110,210,000	

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

単位：円

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	2,204
合計	2,204

10. 関連当事者との取引の内容
 該当なし。

11. 重要な後発事象
 なし。